

令和6年度 「ハッピー♥スマイル」第6回開催報告

1 開 会

【日 時】 令和7年3月16日(日) 13:00～

【場 所】 浅口市健康福祉センター
ボランティア研修室

【参加者】 保護者1名 救急救命士1名 医師1名
養護教諭1名 浅口市保健師1名

2 「避難所運営ゲーム HUG : H(hinanzyo 避難所)、U(unei 運営)、G(game ゲーム)」

今回は救急救命士の頃末さんをお願いして、HUG を体験しました。

HUG では、避難所運営に関する様々な疑似体験ができるよう用意されています。具体的には、避難者それぞれが抱える事情等が書かれたカードを避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こり得るさまざまな出来事にどう対応していくのかを考えていくこととなります。頃末さんが順番にカードを読み、その内容に沿って、避難者に関することならば避難場所を決定して誘導する、イベントカードであれば対応を決定して対処行動をするという流れが説明されました。

テーブルに、避難所となる小学校敷地の地図や体育館の平面図が広げられました。図面では、ほぼ避難者1人分の面積に相当するカード等が用意されていました。

頃末さんから、寒い冬の日には震度5強の地震が発生したと想定しカードが読み上げられていきました。

受付の場所を決めて、避難者をどこに割り当てるか、避難してくる人の様々な状況(家族人数・構成、障害等の状況等)を考え、決めて行きました。さらに、毛布など物資搬入、仮設トイレ、テレビなどへの対応が求められていきました。次々にやってくる避難者の状況や要望への対応に、なかなかスムーズに平面図にカードを配置することが難しくなりました。通路の確保と通路の幅(車イスを考慮)も検討が必要でした。

障害のある人やペット、発熱や嘔吐下痢の方などへの対応など、対応に悩むカードが読み上げられ、平面図も、カードで埋め尽くされていきました。更に車での対応や観光バスの避難、取材依頼や大臣の視察など対応にてんやわんやでした。想定外のこともあり身につまされました。

